

の年代と、場所と、作者とを、今日に於て能ふ限りの確に決定するのが、將に試みようとする所である。當然、年代的、地理的、系統的考察の三者は、密接な關係にはあるが、説明の必要上、之等を別々に調べねばならないので、先づ最後の點から始めようと思ふ。

一

特に、ギリシア風佛教像の生成を知るのには、(挿圖第七、並に丙、附圖第三十、四、又は、甲、附圖第三)印度西北地方へギリシア美術の入つた事を明かにするのが確かに必要ではあるが、之では充分でなく、更に、同地方へ佛教の傳はつた事を立證しなければならぬ。勿論、ギリシア文明なしには、ギリシア化した像のある筈はないが、又、佛教がなければ、かゝる佛像を得る事もなく、かくて、ギリシア化した佛像の創作は、ギリシア人と印度人との何れを除いても不可能な事情にある。従つて、直ちに、アレクサンダ Alexandre の五河地方 Panjab 遠征や、殊に、デメトリオス Démétrios ユクラティデース Eukratides メナンドル Ménandre アポロドトス Apollodotos の如き紀元前二世紀に於ける安息國